

第1学年	数学科	使用教材	未来へひろがる数学1（啓林館） 数学の学習ノート1年（正進社）
------	-----	------	---------------------------------

<学習の目標>

- ・正の数と負の数の必要性に気づき、正の数、負の数の性質や関係を調べることができ、四則計算ができる。
- ・文字を用いることの意義を理解し、数量の関係や法則を式に表現したり、意味を読み取ったりすることができる。
- ・方程式およびその中の文字や解の意味を調べることができる。

授業のポイント	・問題集なども忘れ物をせず、わからないときはできる限り早く先生に質問すること ・説明を聞くときとノートをとるときを区別し、授業中に自分で考える時間をつくること ・黒板に書いてあること以外にも先生の話の中で大事だと思ったことはノートに書くこと
家庭学習について	・授業で習った範囲はすぐに教科書や問題集などを使って復習しておくこと ・習ったことが定着するまで、何度も問題集をくり返し行うこと
テストについて	・定期テスト ・単元テスト

評価の観点	判断基準について
主体的に粘り強く学習に取り組み、数学を生活や学習に生かそうとしている。	授業中の様子・忘れ物・提出物
数量・図形などの関係を的確にとらえ、論理的に考察することができ、数学的に表現する力を身につけている。	定期テスト・単元テスト
基礎的な概念・原理・法則を理解し、数学的に表現・処理する技能を身につけている。	定期テスト・単元テスト

<1学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
4	1章 正負の数 ・正負の数	・負の数の意味を理解し、いろいろな数量を正負の数を用いて表すことができる。 ・正負の数を数直線上に表すことができる ・絶対値の意味を理解できる。	数学の学習ノート1年 (GW 課題)
5	・加法と減法 ・乗法と除法	・正負の数の加法と減法の意味を理解し、正負の数の加法と減法の計算ができる。 ・累乗の意味を理解し、計算ができる。 ・乗法と除法の混じった計算ができる。 ・正負の数の四則の混じった式の計算順序を理解し、その計算ができる。 ・素数について理解し、数を素因数分解することができる。 ・数の範囲と計算の可能性の関係について理解できる。	
6	2章 文字と式 ・文字を使った式	・文字を使用する決まりを知り、それに従って、式を表すことができる。 ・代入と式の値の意味を理解し、式の値を求めることができる。 ・1次式の加減や1次式と数の乗除の計算ができる。 ・図形についての公式を、文字を使って表すことができる。 ・πの意味を理解できる。	
7	3章 方程式 ・方程式	・等式の意味を理解し、数量の間の関係を等式で表すことができる。 ・方程式とその解、方程式を解くことの意味を理解する。 ・等式の性質を理解し、それを用いて簡単な方程式を解くことができる。	数学の学習ノート1年 (定期テスト前課題)

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～

- ・途中式をしっかりと書かせ、思考の過程を表現させる。
- ・既習事項を使って説明する機会を多く設け、意見を交流し、思考力を深める。

